

ちいきじゅうみん

地域住民のみなさんへ



私たちの「17年間の取り組み」の紹介は、第5弾となりました。
今回は、昭和区松風町に事務所をおく「A J U 自立生活情報センター」の紹介です。

A J U 自立生活情報センターは、さまざまな相談にお応えする「障害者地域生活支援センター」や障害者の講師派遣事業を行っている「サポート」、そして、御器所ステーションビルにあるなごや福祉用具プラザ内で情報を発信している福祉用具の「リサイクル相談事業」を主な役割としています。では、順次ご紹介していきます。

昭和区障害者地域生活支援センターです

市内各区にある名古屋市から委託を受けた障害者のための支援センターです。
身近なところで、障害をもっている人やその周囲の人が抱えるこまりごとについて、あらゆる相談を受け付けています。

障害のある方のご希望をきき、支援する側である事業所や施設との橋渡しをしたり、同じ障害をもつ仲間が先輩としてお話をきくことで、精神的に支えとなることをめざしています。また、難しい制度の情報から近所のバリアフリーなお店情報まで、巷にあふれている様々な役にたつ情報を、たくさん集め、必要な人に必要なときにご提示させていただくことで、障害をもっている、この昭和区という地域で、あたりまえに住民として生活していくお手伝いをしています。

生活支援センターを利用されるのは、身体障害で車いすをご利用の方、視覚障害で白杖で来所される方、知的に障害があって働くところや通うところをさがしている方、精神障害といわれる、心の病で思うように生活ができない方、高齢で今ある支援だけでは生活が成り立たない方など、様々です。お電話でお話がはずむこともありますし、お宅におうかがいして、生活の様子をみせていただく中で、また違った支援の必要性がみえてくることもあります。

支援センターにご相談いただいたからといって、すべてこまりごとが解決できるわけではありません。むしろ、お役に立てることはほんのわずかです。ただ、不安定な生活がだんだんと安定していくまでの期間を、私たち支援センターが日々寄り添い、一緒に考えて

いく中^{なか}でなんらかの道筋^{みちすじ}をつくれたらいいなと、そんな想い^{おも}で臨^{のぞ}ませていただいています。
 支援^{しえん}センターには、障害^{しょうがい}を持つ当事者^{とうじしゃ}の方^{ほう}だけではなく、ご家族^{かぞく}やヘルパーさん^{しせつ}、施設^{しせつ}
 の職員^{しょくいん}さんといった支^さえる側^{がわ}の方^{かた}々^{がた}からもおたずね^きをいただく^こことがあります。

しょうわくしょうがいしゃちいきせいかつしえん
 昭^し和^わ区^く障^{しょう}害^{がい}者^{しゃ}地^ち域^{いき}生^{せい}活^{かつ}支^し援^{えん}セ^せン^んタ^たー

じゅうしょ しょうわくまつかぜちょう せんが かい
 住^じ所^{しょ}：昭^し和^わ区^く松^{まつ}風^{ふう}町^{ちょう}2-28 ノーブル千^{せん}賀^が1階^{かい}

TEL：052-841-6677 FAX：052-841-6622

メールアドレス：joho-c@aju-cil.com

ロイヤルホスト^{うら}の裏^{あおやまし}、青山^か歯^あ科^かさん^かのお隣^{となり}に事^じ務^む所^{しょ}をお借^かりして月^{げつ}曜^{よう}日^びから土^ど曜^{よう}日^びま
 でオ^おー^おプ^おン^おして^おい^おま^おす。ど^どう^どぞ^ぞお^お気^き軽^{がる}にお^こ越^こし^こくだ^{くだ}さい。

そうだんじぎょうぶ
 リ^りサイ^{サイ}クル^{クル}相^{さう}談^{だん}事^じ業^{ぎょう}部^ぶで^です

へいせい ねん がつ
 平^へ成^{せい}9年^{ねん}7月^がにオ^おー^おプ^おン^おした^{した}「な^なご^ごや^や福^ふ祉^し用^{よう}具^ぐプラ^ぷザ^ざ」にて、名^な古^こ屋^や市^し総^{そう}合^{ごう}リ^りハ^はビ^びリ^りテ^てー
 シ^しョ^ょン^ん事^じ業^{ぎょう}団^{だん}から受^{じゅ}託^{たく}した^{した}次^{つぎ}の^のよ^よう^うな^な事^じ業^{ぎょう}を^をし^して^てい^いま^ます。

ふくしょうぐ はんばい じぎょうしゃなど しょうかい
 福^ふ祉^し用^{よう}具^ぐの販^{はん}売^{ばい}やレ^{れん}タ^たル^る事^じ業^{ぎょう}者^{しゃ}等^らを^をご^ご紹^{しょう}介^{かい}して^{して}い^いま^ます

なごや福^ふ祉^し用^{よう}具^ぐプラ^ぷザ^ざには、1000点^{てん}を^を越^こえ^える^る福^ふ祉^し用^{よう}具^ぐが展^{てん}示^じさ^されて^てお^おり、専^{せん}門^{もん}家^かの^のア
 ド^あバ^どイ^いス^すを^を受^うけ^けな^なが^がら、実^{じつ}際^{さい}に手^てにと^とつ^つたり^り試^{ため}し^したり^りし^しな^なが^がら自^じ分^{ぶん}に^にあ^あつ^つた^た用^{よう}具^ぐを^を見^みつ^つけ
 る^るこ^こと^とが^がで^でき^きま^ます。自^じ分^{ぶん}に^にフ^ふィ^いツ^つト^とした^{した}福^ふ祉^し用^{よう}具^ぐを^を利^り用^{よう}す^すこ^こと^とで、身^み体^{たい}は^は楽^{らく}に^にな^なり^りま^ます
 し、生^{せい}活^{かつ}も^もよ^より^り便^{べん}利^りに^にな^なり^りま^ます。気^きに^にい^いつ^つた^た福^ふ祉^し用^{よう}具^ぐが^があ^あれ^れば、販^{はん}売^{ばい}して^{して}い^いる^る事^じ業^{ぎょう}者^{しゃ}や^やレ
 ン^{れん}タ^たル^るして^{して}い^いる^る事^じ業^{ぎょう}者^{しゃ}を^を紹^{しょう}介^{かい}して^{して}い^いま^ます。在^{ざい}庫^こが^があ^ある^るも^もの^のは^は販^{はん}売^{ばい}も^もして^{して}い^いま^ます。ぜ^ぜひ、
 お^お気^き軽^{がる}にお^こ立^たち^ち寄^より^りくだ^{くだ}さい。

ふくしょうぐ すいしん
 福^ふ祉^し用^{よう}具^ぐの^のリ^りサイ^{サイ}クル^{クル}を^を推^{すい}進^{しん}して^{して}い^いま^ます

つか ねむ くるま じたく も かた くるま
 使^{つか}わ^わず^ずに^に眠^{ねむ}っ^って^てい^いる^る車^{くるま}い^いす^すや^やベ^べッド^どな^など^どを^をご^ご自^じ宅^{たく}に^にお^お持^もち^ちの^の方^{かた}と、
 必^{ひつ}要^{よう}と^として^{して}い^いる^る方^{かた}の^の橋^{はし}渡^{わた}し^しを^をし^して^て福^ふ祉^し用^{よう}具^ぐの^のリ^りサイ^{サイ}クル^{クル}を^を推^{すい}進^{しん}して^{して}い^いま^ます。お^お寄^よせ^せいた
 だ^たい^いた^た皆^{みな}さん^{さん}の^の「ゆ^ゆず^ずり^りた^たい^い」と^とか^か「ゆ^ゆず^ずっ^って^て」と^とい^いう^う希^き望^{ぼう}は、な^なご^ごや^や福^ふ祉^し用^{よう}具^ぐプラ^ぷザ
 に^にあ^ある^るリ^りサイ^{サイ}クル^{クル}相^{さう}談^{だん}コ^こー^ーナ^なー^ーの^の掲^{けい}示^じ板^{ばん}や^や朝^あ日^じ新^{しん}聞^{ぶん}朝^あ刊^{かん}等^らへ^へ掲^{けい}載^{さい}して^{して}い^いま^ます。条^{じょう}件^{けん}の^の合^あ
 う^う「ゆ^ゆず^ずり^りた^たい^い」方^{かた}と^と「ゆ^ゆず^ずっ^って^て」ほ^ほしい^い方^{かた}を^をお^お探^{さが}し^し、双^{そう}方^{ほう}に^にご^ご紹^{しょう}介^{かい}して^{して}い^いま^ます。

<ご^ご利^り用^{よう}い^いた^たい^いだ^だい^いた^た方^{かた}の^の声^{こえ}>

「ゆ^ゆず^ずり^りた^たい^い」方^{かた}の^の声^{こえ}・・・
 使^{つか}わ^わな^なく^くな^なつ^つた^たの^ので、必^{ひつ}要^{よう}と^として^{して}い^いる^る方^{かた}に^に使^{つか}
 っ^って^てい^いた^ただ^だけ^けと^と嬉^{うれ}しい。
 新^{あら}た^たな^なも^もの^のを^を購^{こう}入^{にゅう}、以^い前^{ぜん}使^し用^{しよう}して^{して}い^いた^たも^もの^の
 は、ま^まだ^だ充^{じゅう}分^{ぶん}利^り用^{よう}で^でき^きる^るの^ので^で譲^{ゆず}り^りた^たい。

「ゆ^ゆず^ずっ^って^て」ほ^ほしい^い方^{かた}の^の声^{こえ}・・・
 制^{せい}度^どが^が利^り用^{りよう}で^でき^きず、い^いろ^ろい^いろ^ろと^とお^お金^{かね}が^がか^かか^かる^る
 の^ので、リ^りサイ^{サイ}クル^{クル}で^で探^{さが}し^した^たい^いの^ので^です^すが^が・・・。
 紙^{かみ}お^おむ^むつ^つは^は毎^{まい}日^じ使^しう^う物^{もの}な^なの^ので、リ^りサイ^{サイ}クル^{クル}で^で
 譲^{ゆず}り^り受^うけ^けら^られ^れた^たら^ら・・・。

< 福祉用具のリサイクル情報が得られる場所・メディア >

- ・ なごや福祉用具プラザ内のリサイクル相談コーナー 掲示板
 - ・ AJU自立の家ホームページ : <http://www.aju-cil.com>
 - ・ 朝日新聞 (毎週木曜日朝刊) ・ 情報誌「AJU福祉情報誌」(隔月発行)
- その他、月1回、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、保健所等へFAXでお知らせしています。

さまざまな情報を提供しています

バリアフリーな宿泊施設や温泉、レストランなどのグルメ情報、交通機関の情報等も集めて、必要な方に提供しています。お気軽にお問い合わせ下さい。

社会福祉法人AJU自立の家 自立生活情報センター リサイクル相談事業部

住所：名古屋市昭和区御器所通3-12-1

御器所ステーションビル3F なごや福祉用具プラザ内

TEL：052-851-0059 FAX：052-851-0159

営業時間：火曜日から日曜日 10:00～18:00

休業日：月曜日・祝休日・年末年始(月曜日が祝休日の場合、火曜日も休み)

メールアドレス：recyclesodan@aju-cil.com



- ハンディがあるからこそできること -

講師派遣事業のご紹介

私たちは障害があるがゆえに、社会環境の不便さや不自由さにいち早く気がついていきます。障害者自身が不便な思いをした経験を生かし、それらの体験を交えてノーマライゼーションの理念(障害のある人もない人も当たり前前に暮らせる社会)を広く伝えることで、障害の有無に関係なく誰もが住みやすい社会を創造することをめざしています。

そこで、講師派遣事業では小中学校の「総合学習」での福祉実践教室で、車いすを利用している講師と生徒たちが一緒になって車いす体験をします。体育館や学校周辺を移動したりして街の様子を伝えたり、講師を囲んで話をする事等を通して、「相手の立場で考える」「人を思いやる」ことの大切さを伝えていきます。

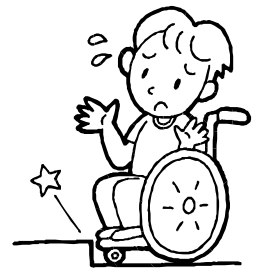
<子どもたちや先生からいただいた感想>

遠い名古屋から来て、いろいろな活動が体験できる。体験させてもらって、車いすは、乗ると楽しいけれど、曲がる時や止まると、何かなど不便だと思いましたが、上がれないから、何かと不便だと思いませんでした。

車いすに乗って、いろいろな活動が体験できる。体験させてもらって、車いすは、乗ると楽しいけれど、曲がる時や止まると、何かなど不便だと思いましたが、上がれないから、何かと不便だと思いませんでした。

車いすに乗って、いろいろな活動が体験できる。体験させてもらって、車いすは、乗ると楽しいけれど、曲がる時や止まると、何かなど不便だと思いましたが、上がれないから、何かと不便だと思いませんでした。

福祉実践教室に参加した小学生の感想

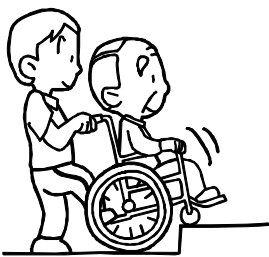


車いすセンターのみなさんへ

先日は、遠いところまで来ていただき、ありがとうございました。思いがけず、車いす体験の話も聞きました。時は、驚きました。しかし、子どもたちが考えたことは、子どもたちから、活動が広がって、ない経験になったことと思います。

また、実際にみまさんとお会いし、短い時間ではありましたが、お話を聞いたり、体験したりして、相手を思いやり生活していくことの大切さを改めて考える機会になりました。ありがとうございます。

福祉実践教室に参加した小学校の先生の感想



今後さまざまな形でみなさんの疑問の声に答えていきます。
電話、ファックス、メールなどで、ご意見、ご要望をお寄せ下さい。

おまちして
ます



社会福祉法人AJU自立の家

名古屋市長和区恵方町2-15

常務理事 山田昭義
施設準備室 鬼頭義徳、小川秀隆

TEL 841-5554
FAX 841-2221

info@aju-cil.com